

## 船橋市市議会議員の議員定数の削減を求める陳情

### 「願意」

次回の船橋市議会議員選挙（令和5年4月）から、議員定数は、行財政改革の一環として3名削減して頂きたい。

### 「理由」

船橋市議会は議員定数の削減のために発議案として、平成22年第4回定例会、平成24年第3回定例会、平成25年第4回定例会、平成26年第3回定例会、並びに令和2年第1回定例会の5回において提案されていますが、いずれも賛成議員が少数であったため否決となり、平成11年4月の統一地方選挙から適用している議員定数50人のまま現在まで削減されていません。

こうした中、市民には行財政改革の名目のもと、補助金や負担金の削減や各施設の使用料の増額、体育施設駐車場の有料化など市民活動や市民生活に大きな影響を与える改革を行っております。

また、市では令和3年度以降のさらなる行革として、「組織の最適化・人件費の抑制」「事業の検証と見直し」「公共施設の最適化」と3つの取組項目を掲げ、財政健全を図ろうとしています。

こうした取組状況から、市議会自身も時代の変化を捉え、行財政改革の一翼を担い、今こそ形を示すべき時ではないでしょうか。

5回にわたる否決に至る討論を拝聴したところ、議員定数削減により、市民の声が行政に届かなくなることなど様々な理由を掲げていますが、今の時代、市民の声は議員を通じて行政に反映されるだけではなく、以前に比べれば遥かに多様なチャンネルによって行政に反映されています。

人口64万人以上で議員定数が50人未満の地方自治体（令和4年4月1日現在もしくは3月末現在）を調べたところ、全国の市では6市（相模原市、静岡市、浜松市、

堺市、岡山市、熊本市)、特別区では2区(足立区、江戸川区)あり(下記資料のとおり)、船橋市議会で議員定数が削減出来ない筈がないとも考えます。

これまで以上に議長の強いリーダーシップの下、議会内の風通しを良くしてコミュニケーションを図っていただければ、上手くいくのではないのでしょうか。

市民は、議会自体に対して踏み込んだ行財政改革に注目しています。

「資料」

| 区分  | 自治体名 | 住民基本台帳人口(人) | 議員定数(人) |
|-----|------|-------------|---------|
| 市   | 相模原市 | 718,456     | 46      |
|     | 静岡市  | 686,746     | 48      |
|     | 浜松市  | 793,606     | 46      |
|     | 堺市   | 808,747     | 48      |
|     | 岡山市  | 702,073     | 46      |
|     | 熊本市  | 729,195     | 48      |
| 特別区 | 足立区  | 689,258     | 45      |
|     | 江戸川区 | 688,602     | 44      |